

嘉麻市スポーツ推進計画実施計画表(案)

基本目標	基本施策	事業概要	今後の課題	具体的な取り組み	実施年度		
					R3	R4	R5
1 スポーツによる地域の活性化	1 スポーツ推進委員・指導者派遣事業	地域のスポーツに関するコーディネーターとしてスポーツ推進委員・指導者を派遣します。専門的な知識や技能だけではなく心身に及ぼす改善効果の重要性を広める担い手として活躍してもらいます。	学童保育所やいきいき・サロン団体への出前講座だけでなく、スポーツ推進委員が主催する親子ふれあい運動教室を開催しました。また、荒木教授によるコーディネーショントレーニング研修や指導者向けの研修に参加し、外部講師を招いてスポーツ推進委員の役割について研修を行うなどスキルの向上を図りました。今後については、さらにスポーツ指導者としてのスキルアップを図るとともに、様々な年代に向けた教室の企画などスポーツ推進委員が自ら事業の展開を行えるように連携します。	○子どもの体力向上を目指し、学童保育所児童に対して運動指導を実施します。	実施	→	→
				○スポーツ推進委員や地域活動指導員の指導スキルのアップを目指し、荒木教授のコーディネーショントレーニング研修会や指導者向け研修会の充実を図ります。	実施	→	→
				○地域における様々な年代に対する指導を目指し、社会福祉協議会の運営するいきいき・サロン団体など、地域に出向き、出前講座を実施します。	実施	→	→
	2 スポーツ情報提供事業	広報紙やホームページを使ってスポーツイベント情報等の広報、スポーツ団体組織、スポーツ運動施設など身近な情報を提供します。また、スポーツや運動が人間にとって、どのような意味があるかを市民に広く伝えます。	スポーツ情報の提供は、広報嘉麻と嘉麻市ホームページにおいて各種教室や大会の情報を随時提供してきました。特に荒木教授のコーディネーション理論やプロジェクトKの進捗状況などは広報嘉麻において情報提供してきました。また、荒木教授実演の自宅でできるコーディネーショントレーニングの動画をホームページに掲載し、広く周知を行いました。今後もイベント情報などの紹介だけでなく、市民が気軽にスポーツを行えるように内容の充実を図ることが必要です。	○スポーツ教室やイベントに関する情報は、開催周知や実施状況に関する情報を広報誌や嘉麻市ホームページに掲載します。	実施	→	→
				○市体育協会や市内のスポーツ団体、指定管理者のスポーツ教室や活動に関する情報を広報誌や嘉麻市ホームページに掲載します。	実施	→	→
				○社会福祉協議会の運営するいきいき・サロン団体や各地域の公民館などと地域コミュニティと連携したスポーツ出前講座を実施します。	実施	→	→
3 スポーツによるコミュニティ創造事業	スポーツをコミュニケーションの1つととらえ、市民がスポーツを実施する機会を提供するとともに、継続的にスポーツを実施することができるようにサークル設立を支援し、スポーツに関する情報発信を行うことでスポーツ人口の増加を図るとともに、市民の交流の機会を提供します。	地域において市民が継続的にスポーツが実施できるよう、スポーツによるコミュニティの育成を目指し、地域活動指導員による出前事業を実施しています。令和2年度からは、いきいき・サロン団体だけでなく、10人以上の団体であれば出前講座を実施するなど対象の拡充を図りました。今後もさらに地域コミュニティの育成を図るため、事業の継続が必要です。	○地域活動指導員による各種スポーツ教室を実施します。	実施	→	→	
			○障がいを持つ方も気軽に参加できるようなスポーツ教室を実施するため、研修等に参加し、スキルの向上を図ります。	実施	→	→	
4 スポーツ・健康教室開催事業	誰もが参加できるスポーツ教室と、スポーツ教室間の交流事業を展開します。また、スポーツを通じたコミュニティづくりを目指した子ども教室、親子健康教室、障がい者スポーツ教室、高齢者教室などを開催します。	誰もが参加できるスポーツ教室の開催を目指し、地域活動指導員による健康運動教室を中心に事業展開してきました。平成30年度が壮年男性、令和元年度では女性を対象としたトレーニングジム教室を開催し、参加者層の偏りや固定化の解消を図りました。また、産後の母親を対象としたヨガ教室では、託児付で行うなど参加しやすい教室を目指しました。今後は障がいを持つ方も気軽に参加できるような教室の開催を目指します。	○関係機関と情報を共有、連携を強化し地域の活性化を図ります。	実施	→	→	
			○利用人数や利用団体数など大会や合宿の形態に応じたスポーツ施設・宿泊施設の利用状況を整理し、市のホームページにおいて情報提供します。	実施	→	→	
5 スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援	各種スポーツ大会・スポーツ合宿を誘致し、市民の運営や企画への参加を促します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の減少見込まれるため、関係機関と連携をさらに強化し、交流人口の増加と地域の活性化に努めます。また、各種団体への働きかけと合わせて市のホームページ等を利用して広く情報提供を行う必要があります。	○関係機関と情報を共有、連携を強化し地域の活性化を図ります。	実施	→	→	
			○利用人数や利用団体数など大会や合宿の形態に応じたスポーツ施設・宿泊施設の利用状況を整理し、市のホームページにおいて情報提供します。	実施	→	→	

嘉麻市スポーツ推進計画実施計画表(案)

基本目標	基本施策	事業概要	今後の課題	具体的な取り組み	実施年度			
					R3	R4	R5	
2 スポーツ環境の整備	1 スポーツ施設情報提供事業	広報紙、ホームページを使って施設の利用を促進します。スポーツのみに限定することなく、施設における新しい視点による「運動遊び」を紹介したり、また自然の中のスポーツイベントや、ジョギング、ウォーキングなどの軽運動などのイベントを紹介します。	市民が気軽にウォーキング等が親しめるよう、コースやイベント情報の充実を図るとともに、施設の利用促進を目指し、市民が気軽に施設が利用できるよう軽運動の紹介など啓発が必要です。	○嘉麻市ホームページにおいて、ウォーキングコースやイベントの情報を提供します。	実施	→	→	
	2 人間に有益なスポーツ運動施設の改善事業	脳は、少しの工夫で適切な刺激を受けて、脳の機能をより良く発達させることができます。ささやかな工夫で効果が期待される、人間にとって心理的、行動的に有益な環境づくりと整備を、スポーツ運動施設、保育所、幼稚園、学校、公共施設などで進めます。特に、誰もができる家庭における生活環境の改善を市民の間に広げます。	令和元年度は全世帯に家庭でできるコーディネーショントレーニングのポスターを配布し、誰もが気軽に取り組めるように市民へ啓発を行いました。今後は、脳機能の発達を目指した荒木教授によるスポーツ環境の整備に関する研修会の実施を目指します。	○各家庭において実施できる脳機能発達を目指した生活環境の改善について、荒木教授による研修会を開催します。 ○嘉麻市ホームページにおいて、荒木教授による脳機能発達を目指した生活環境の改善に関する研修会の内容を情報提供します。	実施	→	→	
	3 自然のなかでの豊かな運動環境の開発事業	自然のなかで、人間は心理的にも身体的にも健康志向が育まれます。自然の色彩、自然からの多彩な刺激は、脳の機能に大きな作用を及ぼします。自然豊かで文化性に満ちた市内の環境を再発見し、ジョギング、ウォーキングなどの手軽な運動に最適な運動環境を整備し、市民の利用を促進します。	文化財係と連携し、市内の史跡を巡るウォーキングコースやトレッキングコースを作成しイベントを実施しました。今後も市内の史跡など教育・文化資産を活用し、その所属機関と連携を図りながらコースの増設、イベントの開催を実施することが必要です。また、市民が気軽に何度もコースを利用できるようコースの案内表示や情報提供の充実を図ることが必要です。	○生涯学習課と連携し、市内の史跡などを巡るウォーキングコースやトレッキングコースを作成しイベントを実施します。 ○嘉麻市ホームページにおいて、コースの案内やイベント情報を随時情報提供します。	実施	→	→	
3 生涯スポーツの推進	1 子育て・子育て支援事業	《プログラムA1》 コーディネーション理論を基にした家庭教育、子育て支援事業を進めます。発達障がいや障がいを持つ子ども達の能力開発と支援事業を進めます。誰もができる身近な生活改善と環境整備、市民同士が自由に語り合える子育て相談など、地域のコミュニティづくりに貢献する「地域で取りくむ子育て」支援と「自然が促す子育て」の実現をはかります。	令和元年度に、家庭でできるコーディネーショントレーニング(乳児編)のガイドブックを新しく編集し、母子手帳受け取りの際に配布するように子育て支援課と連携しました。内容については、前回のガイドブックに、赤ちゃんがお腹にいるときから行えるコーディネーショントレーニング(マイナス1オプログラム)を取り入れました。また、実際に保育園を訪問し、運動の苦手な子や動きの気になる子について、荒木教授によるこどもクリニックを実施しました。今後も、保護者向けの啓発、動きの気になる子などを対象にした支援については、こどもクリニックの開催や情報の共有など支援の充実を図ることが必要です。	○乳幼児施設職員を対象に荒木教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施します。 ○家庭でできる乳児コーディネーショントレーニングガイドブックを母子健康手帳と合わせて配布します。 ○運動の苦手な子や動きの気になる子、発達障がいや障がいを持つ子を対象にこどもクリニックを実施します。	実施	→	→	
	2 保育、幼児教育の推進事業	《プログラムA2》 保育所、幼稚園で、脳、体、心の育みを促すコーディネーション運動を推進します。発達障がい児や障がい児に対する運動やスポーツカウンセリングを推し進め、みんなが希望を持てる子育て環境をつくりたいです。誰もが参加でき、誰もが実践可能な理論から始まり、より高度な実践理論にいたるまで、多くの人が参加できる幅広いプログラムの展開ができる体制を整えます。	令和元年度は、実際に保育園を訪問し、保育士からの相談や、気になる子の相談を受けました。また、荒木教授による乳幼児施設職員を対象としたコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施し、指導者の育成を図りました。指導については、公立保育所は市保育士による定期的な実技指導を実施し、私立保育園・幼稚園にはコーディネーショントレーニングが取り組めるよう財政支援を実施しました。また、運動の苦手な子や動きの気になる子、発達障がいや障がいを持つ子を対象に、荒木教授によるこどもクリニックを実施しました。今後も指導者の育成を図るとともに、私立保育園・幼稚園に対する財政支援を継続し、動きの気になる子などを対象にした支援については、こどもクリニックの開催や情報の共有、小学校との連携など支援の充実を図ることが必要です。	○乳幼児施設職員を対象に荒木教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施します。 ○私立保育園・幼稚園に対して嘉麻市プロジェクトK事業推進補助金を交付します。 ○運動の苦手な子や動きの気になる子、発達障がいや障がいを持つ子を対象にこどもクリニックを実施します。	実施	→	→	
					○こどもクリニックにおける荒木教授の助言内容をデータベース化し、発達支援に関係する機関や保護者に対して情報の共有を図ります。	実施	→	→
					○こどもクリニックにおける荒木教授の助言内容をデータベース化し、発達支援に関係する機関や保護者に対して情報の共有を図ります。	実施	→	→

嘉麻市スポーツ推進計画実施計画表(案)

基本目標	基本施策	事業概要	今後の課題	具体的な取り組み	実施年度		
					R3	R4	R5
3 小学生、中学生のスポーツ運動を通じた総合教育の推進事業	<p>《プログラムB1》 小学校低学年に対する運動を通じた体力向上、運動能力向上、豊かな感情と知的好奇心の育成を図ります。問題を抱える子ども達に対する、学校教育の中でのスポーツや運動を通じた心の教育を押し進めます。</p> <p>発達障がい児、障がい児に対する運動プログラムを展開し、子ども達の間で、相互の理解と助け合う心の育みを進めます。</p> <p>《プログラムB2》 小学校高学年に対するスポーツと運動を通じた体力、運動能力向上を図るとともに、身体活動を通じた学力向上を目指します。</p> <p>発達障がい児、障がい児は、定型的発達児とは異なる能力を発揮することがあります。こうした子ども達の能力を最大限に活かすべく、確実な支援体制をつくり、明るい学校づくりを進めます。こうした多様な運動プログラムを展開し、子ども達の間で、相互の理解と助け合う心の育みをはかります。</p> <p>《プログラムC》 中学生を対象に、スポーツと運動、子ども達とのふれあいを通じた情操教育をすすめ、自らの体力・運動能力の向上とともに、スポーツへの参加意欲を促し、知的好奇心を育みます。</p> <p>発達障がいや障がいを持つ子ども達に、運動を通じた学習支援、生徒相互による助け合い、相互に理解を深めるスポーツ教育を定着させます。</p>	<p>荒木教授による小学校教員を対象としたコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施し、指導者の育成を図りました。指導については、平成28年度にはすべての小学校で運動指導が実施できています。また、運動の苦手な子や動きの気になる子、発達障がいや障がいを持つ子を対象に、荒木教授によるこどもクリニックを実施しました。中学校に対する運動指導については、令和元年度に荒木教授による公開授業や教員向けの研修会を行い、実際に体育の授業にコーディネーショントレーニングを取り入れるなど広がってきています。今後も小中学校の教員に対する研修会を充実し、更なる指導者の育成を図るとともに、動きの気になる子などを対象にした支援については、こどもクリニックの開催や情報の共有、乳幼児施設との連携など支援の充実を図ることが必要です。</p>	○小中学校教員を対象に荒木教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施します。	実施	→	→	
			○運動の苦手な子や動きの気になる子、発達障がいや障がいを持つ子を対象にこどもクリニックを実施します。	実施	→	→	
			○こどもクリニックにおける荒木教授の助言内容をデータベース化し、発達支援に関係する機関や保護者に対して情報の共有を図ります。	実施	→	→	
			○学校教育課と連携し小学校における体育専門指導者の配置について検討します。	実施	→	→	
			○中学校に対するコーディネーショントレーニングの導入を促進します。	実施	→	→	
4 高校生、青年のスポーツ運動の普及と社会人基礎力の育成事業	<p>《プログラムD》 高校生、青年の豊かな感性を育み、将来への展望を抱き、市民としての自覚と責任を持つ豊かな人間性教育を実現します。</p> <p>スポーツは、歴史的にも社会が疲弊し混乱した時代に、新しいスポーツや体操が広く普及しました。生涯スポーツの目的は、豊かな人間性とともに、活力に満ちた地域社会づくりの担い手となる若者の育成が含まれます。</p> <p>嘉麻市で独創的なスポーツ運動文化を推進し、誰もがスポーツに参加できる地域づくりに貢献できる若者を輩出します。また、障がいを持つ若者が参加できる障がい者スポーツの普及に努めます。</p>	<p>乳幼児から小学生までの導入を優先的に実施してきましたので、高校生への導入は実施できていません。中学生に対する導入と合わせて、授業や運動部活動への導入が実施できるよう、所属機関と連携し、教員だけでなく、生徒向けの研修などの開催が必要が必要です。</p>	○高校への導入について、授業に取り入れることへの可能性や、コーディネーション理論の導研修会等の実施など、関係機関との連携を目指します。		実施	→	
5 生涯学習、社会人学習としてのスポーツ活動支援事業	<p>《ライフ・プログラム》 スポーツは、競技スポーツだけではなく、身近な運動、楽しい運動によって、人間相互の信頼と共同体意識を育むことができます。こうした広く市民を元気にするスポーツ運動への参加、企画への参加を促すとともに、市外、県外からの多くの人の参加を促します。</p> <p>人間の能力は、成人になっても伸び続けることに確信を持ち、家庭や職場でも率先して、積極的に行動する市民を輩出し、豊かな市民文化を創成していきます。</p>	<p>乳幼児から小学生までの導入を優先的に実施してきましたので、青壮年や成人に対するトレーニングの体系的な導入は実施できていません。健康運動教室においてコーディネーショントレーニングを実施していますが参加者は高齢者が多く青壮年や成人は若干名です。今後、体系的な導入を目指し、健康課が主催する健康づくり事業と連携した取り組みが必要です。</p>	○子どもと一緒に参加できるようなスポーツ教室を企画し、まずは外に出てスポーツをするきっかけをつくります。	実施	→	→	
6 高齢者の生きがいのある生活実現のための事業	<p>《シルバー・プログラム》 高齢者は、単に心身の働きが低下するだけでなく、高齢期にこそ伸びる能力もあります。それは、全体を見渡せる能力、直観的に感じる能力、状況をつかむ能力です。こうした能力は、身体を使い、身体で感じるという高齢者スポーツ運動によって伸ばすことが可能です。</p> <p>これを目的とした高齢者教室を開くとともに、高齢者の経験を活かし、高齢者が活躍できる場と世代間交流をはかるスポーツ運動の環境を提供していきます。</p>	<p>高齢者に対するコーディネーショントレーニングの普及については、健康運動教室やいきいき・サロン団体において、コーディネーショントレーニングを実施しています。また、令和2年度では、高齢者向けのコーディネーショントレーニングのDVDを作成しました。指導者の育成は、指導者向けの研修会を実施し指導者の育成を図りました。今後は、高齢者介護課と連携した事業展開を実施し、高齢者の関係団体や嘉麻市体育協会の加盟団体と連携し、体系的なトレーニングの普及が必要です。</p>	○高齢者向けのコーディネーショントレーニングのDVDを使った活動を行います。	実施	→	→	
			○高齢者介護課と連携し、高齢者の関係団体や嘉麻市体育協会の加盟団体についてトレーニングの普及を図ります。		実施	→	

嘉麻市スポーツ推進計画実施計画表(案)

基本目標	基本施策	事業概要	今後の課題	具体的な取り組み	実施年度		
					R3	R4	R5
4 競技スポーツの推進	1 各種競技大会、未経験の競技体験会の開催事業	公的な各種スポーツ競技大会を開催します。また、手軽に参加できる小規模な競技会も開催し、能力に応じた目標を立てることによるモチベーションの向上を図ります。 子ども達を対象に、普段、経験したことないスポーツの体験会を開催します。それを契機にして、さまざまなスポーツに関心を抱き、自らが関心を持つスポーツ探しの意識を育みます。	市体育協会やその加盟する団体、各種実行委員会に対し、各種教室や大会が円滑に実施できるよう財政的な支援を実施しています。また、未経験の競技体験会としてボルダリング教室を実施しています。未経験のスポーツ体験会については、子どもたちが様々なスポーツに関心が持てるように、種目を増やす必要があります。	○市体育協会及び各実行委員会に対して、各種教室や大会が円滑に実施できるよう財政的支援を実施します。	実施	→	→
				○ボルタリング等のスポーツ体験会を実施します。	実施	→	→
	2 子ども達のスポーツと競技力向上への関心を高める事業	トップアスリートとの交流会を開催し、トップレベルの選手と触れ合うことにより、夢をもってスポーツに取り組むきっかけを作ります。また、自らが目標に即してスポーツ競技力を伸ばそうとするスポーツ文化を広めるとともに、体力だけでなく運動能力や運動学習力、潜在的な能力を豊かにします。	トップアスリートとの交流については、プロバスケットボール選手、卓球のオリンピックによる教室を実施しました。また、SOMPOボールゲームフェスタを開催し、様々な競技のプロの選手と触れ合うイベントを実施することができました。今後もトップアスリートとの交流事業については、国・県等の事業を活用しながら、様々な種目の教室を実施する必要があります。	○オリンピックやプロのラグビー選手などによるトップアスリート交流会を実施します。	実施	→	→
				○国・県等の事業を活用したトップアスリートの交流会を実施します。	実施	→	→
	3 指導者養成・育成とスポーツ科学の普及事業	スポーツ指導者、スポーツ推進委員、教員、保育士、一般市民を対象にした身近なスポーツ科学、運動科学、栄養学などに関する学習会、研修会を開催します。 全国で活躍できる選手育成を目的とした幅広いスポーツ指導者の発掘、育成に努め、適切な指導理論の情報と機会を保障します。 競技力向上の土台となるコーディネーショントレーニングの普及と指導者研修を行うことによって、競技団体の意欲を高め、相互の協力関係を築き上げます。	スポーツ指導者の育成については、競技力向上の土台となるコーディネーショントレーニングの指導者研修会を中心に実施しました。スポーツ推進委員や地域活動指導員をはじめ、乳幼児施設職員、小中学校教員、高齢者関係施設職員など年々受講者は増加傾向にあります。誰もが自らの目標に即してスポーツ競技力の向上を目指すことができるよう、今後もコーディネーショントレーニング研修会の内容の充実を図るとともに、幅広いスポーツ指導者の発掘、育成を図ることが必要です。	○荒木教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施します。	実施	→	→
				○荒木教授による身近なスポーツ科学や運動科学、栄養学などに関する研修会を実施します。	実施	→	→
				○コーディネーション理論の知識及びトレーニング指導の技術の向上を目指し、指導者相互の連携や課題の共有ができるようコーディネーショントレーニング指導者ネットワークを設置し、コーディネーショントレーニングの普及を図ります。	実施	→	→